

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 刈谷田福祉会	代表者	理事長 岸 弘道	法人・ 事業所 の特徴	共に生き、共に育み、「尊敬の心」「感謝の心」「謙虚な心」のサービスの提供に努めます。 自宅での生活の継続を望む方が、家族・地域との関係を断ち切ることなく、これまでと同じように地域で共に生活が送れるように支援していきます。
事業所名	小規模多機能型 居宅介護みやざわ苑	管理者	大崎 祐史		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	0人	2人	1人	0人	2人	4人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・事業所評価、外部評価の再確認や事業所の傾向などの勉強会を行ない、評価と改善策の共通認識を高めていく。	・勉強会はできなかったが、定期ミーティングで、改善策と進捗状況について確認しながら取り組んでいくことができた。	・いろいろと改善されていて良かったと思う。 ・項目によっては、あまりできていない、できていない、にチェックがついているのが残念。課題になると思う。	・改善計画を、すぐに取り掛かれるもの、時間を有するものに分類し、ミーティングでの情報共有を元に、バランスを取りながらすすめていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・整頓チェック表を作成し、玄関の定期的な整頓確認と整理を行なう。また、1階の地域交流スペースに季節に応じた飾り付けを行ない、雰囲気作りを図る。	・整頓チェック表を作成し、定期的な整理整頓を行なうことができた。 ・交流スペースの飾り付けや利用者作品の掲示でよい雰囲気にする事ができた。	・飾り付けは、いい雰囲気になっていると思う。利用者の作品提示も良い。もっとアピールできるとより良い。 ・来苑した方に評価をしてもらってもいいのではないか。	・面会で来苑された方にアンケートの協力をお願いする。(来苑時にお願ひし、帰際に回収させていただく。負担にならないように簡潔なものとする。)
C. 事業所と地域のかかわり	・定期的に施設での活動を回覧板などで地域に知ってもらい、気楽に来苑してもらえる「仕掛け作り」を行なう。(広報誌と交流スペースの有効活用)	・定期的な広報誌作成と回覧板でのアピールをすることができた。 ・交流スペースでの活動は行なったが、地域の方への働きかけができていない。	・標準語でなく、方言の方が地域という感じがでるのではないかと常識の範囲内で。 ・方言がどうか？という意見もあると思う。難しい問題だと思うが。	・利用者手作り作品(ぞうきんなどの日常生活品)を近隣の保育園などに配り、地域、世代間のかかわりの機会を増やしていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・地域での活動を今後も継続しながら、更に関わりを深めていく。 ・チラシ、広報誌で情報発信し「地域の相談窓口」であることをアピールしていく。	・地域での活動の継続はできたが、関わりを深めるまでは至らなかった。 ・実際の相談には至らなかったが、広報誌で「地域の相談窓口」であることのアピールを継続している。	・地域の行事には事業所としての参加となっていると思うが、利用者個々としての関わりを持っていったらどうかと思う。	・地域行事、イベントへの参加を継続していく。 ・地域の店での買い物や食事のツアーを計画、実施し、馴染みのある場所との関わりを増やしていく。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・外出や地域行事の参加など参加人数や実施規模、また利用者や職員の感想などを入れた、今までのものより分かりやすく詳細な資料を準備する。	・資料に地域行事や外出の参加人数を入れたが、感想の記入など不十分なところもあり、今後も検討改善していく必要がある。	・配布文章は見やすいと思うが、活動の雰囲気や感想など伝わってこない面もある。 ・事業所だけでは解決できなくても気楽に相談ができればいいと思う。	・定期のミーティングで運営推進会議での意見や課題の情報共有と確認を行ない、改善解決に向け取り組んでいく。
F. 事業所の防災・災害対策	・災害ごとにおける避難基準や役割、動きなど、大きく分かりやすいものを作成し、掲示する。前回できなかった災害時の事業所の役割を回覧チラシへの明記を実施する。	・災害時の避難方法や役割などを記載した防災基本事項を作成、掲示した。また、回覧広報誌に事業所の役割を明記したが、浸透には至っていない。	・マニュアルはあるが、職員の伝達方法など基本的なことを、まずはしっかりと欲しい。 ・備蓄に関しては、事業所だけの話ではない。法人としての対応が必要。	・事業所の取組みを理解してもらえよう、回覧チラシでの発信を継続していく。 ・定期的に役割の確認を行ない、緊急時の対応に備える。